

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

障がい者の外出を守るろう

移動支援事業の充実を

旭川手をつなぐ育成会、街頭演説会で市民に訴え

生活に必要な外出や余暇のための外出は、誰にとっても必要不可欠です。一方で外出をするために、介助や見守りが必要な障がいのある方もいます。この方々の外出を保障するための移動支援事業は、市町村事業のため、利用できる条件が違ったり、報酬に差があったりして、地域で格差があります。サービス提供事業者が撤退したり、ヘルパー不足のために、外出したい時に利用できない現状もあります。旭川手をつなぐ育成会の取り組みをお伝えします。

市民に知ってもらおう

12月14日(土)11時と13時からの2回、旭川駅前広場にて街頭演説会を開催。チラシを配布し、気にかけていただいた方や足を止めて聞いていただいた方も多く、反響の高さを感じました。

旭川育成会は移動支援事業について、市と意見交換をしてきましたが、当事者を中心とした話し合いには至りませんでした。将来のためにも、障がいのある方の関係者のみならず、多くの方々に自分たちの地域の中で起こっていることを知っていただくために、関係者の想いを伝え、地域をバックボーンとしながら今後向き合っていくという気持ちから今回の街頭演説会を行いました。

当事者・家族など5名が登壇



その後、ヘルパー不足や報酬の低さなどの現状から、旭川

演説会では、障がい当事者、家族、支援者、合わせて5名が登壇しました。障がい当事者からは、自らの障がいのことや生きること、外出や移動支援事業の必要性、もっと外出をして楽しみたいことなどが話されました。家族からは、通院や余暇で実際に移動支援を利用している中で、安心感と生きる上での楽しさを本人が感じ、家族だけでは伝えられないことをこの支援の中で得られたこと、親も年をとる中で親子後などに、移動支援事業がなくなるに困ることなどが話されました。

市の移動支援事業所が衰退してきていること、支援が必要な方の外出が守れないこと、週末など家でじっと過ごさなくてはならない障がいのある方がいること、施設やグループホームでも週末などの職員配置などが厳しく、外出できない方がいることなどを伝え、地域の方々の力や障がいへの理解が必要であることを伝えました。

声を上げるのが当たり前の社会に

今回の街頭演説会を通じて、声をあげることの大事さを感じました。声をあげられない社会にならないためにも、このような課題を伝えることが出来たことに意義があったと思います。障がいのある本人や家族の方も「話していいんだ」と思える社会を作っていくために、これからも続けていく必要性を感じました。



今後、課題は増えることはあっても減ることはないと思います。課題を机上で話すだけでなく、出来る限り地域に伝えることをやり続けることは、障がいのある本人たちが少しでも安心して生活をしていける将来のためにも必要であり、今後とも向き合っていくと思います。

(旭川手をつなぐ育成会 副会長 野々村雅人)



ブロック研修会開催報告

十勝
胆振

育成会を広げる活動に

十勝ブロック研修会

令和6年10月26日に十勝ブロック研修会が豊頃町で行われました。豊頃町親の会を中心に豊頃町福祉課、社会福祉協議会の全面的協力により、十勝管内から育成会、施設・作業所、教育等の関係者60名を超える参加がありました。

昨年の研修会で育成会の活動がまだまだ知られていないなと感じていたので、今年は地域に広げられるよう、関係機関に働きかけました。市町村、教育委員会、施設・作業所・就労支援センターの協力を頂き、まわりに広めていただくことができました。また十勝東部での開催により、新たな繋がりができたのは大きな成果でした。

豊頃町手をつなぐ親の会にはご負担をお掛けしましたが、豊頃町の親の会から「地域で開催することで、会の活性化と障がい者への理解が深まるきっかけになれば」との感想を頂き、多くの地域で実施することが、育成会活動を広げるきっかけの一つになると感じました。



講演では光増昌久氏より「本人活動と育成会活動の連携を—この活動は共に権利擁護活動」と題してお話しいただき、参加者からは「今の育成会・本人の会の活動を知ることができた」「本人の意思をくみ取り、本人が決定できるように支援していきたい

い」などの感想がありました。

そのあとの分散会では三つの会場に分かれて「地域で安心して暮らすために」をテーマに話をしました。参加された親からは「子どもの障害が同じ方と話ができてよかった」などの感想がありました。

開会式では自立更生者として大樹町内クリーニング店で長く就労されているご夫婦が受賞され、本人たちの笑顔が研修会に華を添えることになりました。

(十勝手をつなぐ育成会連絡協議会)

事務局長 久保 寧男



事業所、学校、親、きょうだいの

課題や想いを語り合う

—胆振ブロック研修会

昨年6月のある日のことであつたらうか。室蘭育成会の鈴木局長より電話—胆振地区ブロックでの当初計画の地区育成会活性化事業の予定を変更して、育成会拡大活動ブロック助成事業の研修会として開催してほしい—との意の申し出を受けて、伊達の育成会が主管して、だて歴史の杜カルチャーセンターを会場に令和6年11月16日(土)に次のような研修会を開催しました。

胆振地区三浦会長の開会挨拶に始まり、講演「障がいのある人の人生とはく支援者として追い求めてきたもの」と題



して、道知的障がい福祉協会の大垣会長より、次期報酬改定に向けた居住支援の課題と提案を含む、障がい福祉サービスの中央情勢報告がありました。また最近の憂いとして、親御さんたちによる共同作業所を出発点とする育成会だからこそ、子や家族を置き去りにしない実践のお手本を進める使命があり、支援従事者としてのミッションがあるのではないかと、重い問い掛けを受けました。

実践報告及び提言の部では、学校現場から伊達高等養護学校の津田教諭、室蘭養護学校の安井教諭、コーデイネーターを道育成会の藤田事務局長に務めていただき、卒業生の進路状況や各学校の利用状況、関係機関との連携を図り、途切れない支援を目指すことが望ましいとのこと意見をいただきました。

事業スポンサーでもあるジェイアイシー藤元北海道支店長の総合補償制度の案内を挟み、言わば第3部シンポジウムとして、道育成会佐藤会長をコーディネーターとして、苫小牧育成会斉藤会長、登別育成会神田副会長、伊達コスモス21ふみだす廣澤所長に親なき後の親・きょうだいそれぞれ

の想いを語っていただきました。終了までおよそ3時間半に及ぶ日暮れの早さを気にしながらの盛り沢山の研修会となりました。(伊達市手をつなぐ育成会 事務局長 木嶋 隆志)



私たち育成会、ただ今、奮闘中!

地区育成会の活動紹介

北広島市しょうがい児者を持つ親の会

その13

旭山動物園で動物たちと過ごした1日

今年の外出支援活動はバスに乗って動物園へのお出かけを企画しました。

9月14日(土)、北広島市役所から旭山動物園目指して出発。今回10家族21名(本人9名)の参加でした。

当日は暑くも寒くもなく、丁度良い秋晴れの1日で、楽しく園内を思い思いに過ごされていたようです。

今回は入場料などがからなかったため、お土産などを用意できて子供達も喜んで頂けたようでした。係としても嬉しい日となりました。

ご参加の皆さん、係の皆さん、ご協力ありがとうございました。

(余暇支援活動担当チーフ 國岡 幹子)

「どうぶつえんをたのしかった」

絶好の行楽日和の中、私たち親子は初めて親の会の余暇支援活動に参加しました。

幽霊会員の私が…と、ちょっと迷いましたが、日々のあれやこれやで一杯一杯になっていたの、リフレッシュしたいなと思い、参加を決意しました。

行きの移動中はリラククスして過ごし、更に菓子まで頂いて息子&私はほくほく。

旭山動物園に到着後は、息子は大好きなアザラシを見て、パンケーキを2枚も食べたり、私はダ



イナミックな展示に圧倒されつつ、しっかりソフトクリームなどを食べたりと遊び倒しました。

帰りの車中では、可愛いキーホルダーまで頂いて…。個人では中々行く事の出来ない所に連れて行って下さり、感謝しかありません。

あと、会員の先輩ママさんとお話し出来たのも、とても嬉しかったです。

ちなみに表題の言葉は息子の感想です。自分の気持ちを表現するのは、まだ難しいようですが(てにをはの使い方も)、はつきりと自分から言いました!跳び上がる程嬉しかったです。

次回も是非参加したいです。有難うございました。(会員 細谷 三穂)



国連の定めた二つの啓発の日 イベント開催

● 3月21日「世界ダウン症の日」

北海道小鳩会(ダウン症児・者親の会)は札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)憩いの空間(6番出口付近)で啓発イベントを行います。ポスター・写真の掲示、啓発動画・アピール動画上映。

● 日時: 3月20日(休)・祝 11時~17時

● 4月2日「世界自閉啓発デー」

北海道自閉症協会札幌分会(札幌ポプラ会)はチカホ北大通交差点広場で啓発イベントを開催します。パネル展示・啓発動画上映・セルフイースイン(応援写真)展示、販売コーナー。テレビ父さんもやってきます。

● 日時: 4月2日(水) 11時~17時

画イベントにぜひお立ち寄りください。

障がい者就労施設等製品展示会開催

12/17~19

12月3~9日の「障害者週間」に合わせ、道民に障がい者の福祉についての関心と理解を深めてもらい、障がい者の社会参加を広げるために、事業所の製品を展示・販売、事業所紹介のパネルを展示する「障がい者就労施設等製品展示会」が、道庁1階ロビーにて行われました。

道育成会からは、11事業所が出店。来場者は延べ973人。全体の売上総額は19万8千470円でした。



「恵庭市『障害者虐待』隠ぺい事件」裁判

への支援のお願い

1月号の記事でお伝えしました裁判の支援について、「支援したいが、クラウドファンディングは難しい」との声が寄せられていますので、道育成会で取りまとめとめて弁護団にお届け出来るようにしました。左記の口座にお振込み下さい。

店名 北洋銀行 道庁支店(475)

口座番号 (普通) 3537812

口座名義 一般社団法人北海道手をつなぐ育成会

全道大会のお知らせ

創立70周年記念

第70回全道大会 千歳大会

2025年9月27日(土)
12:00~17:15

千歳市民文化センター
北ガス文化ホール

4月の予定

21日(月) 第1回理事会

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは **家族の安心を支えます**

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…
全国で約15.5万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2023年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2 F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2024年1月現在の内容です。(D-007025 2025-03)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの
ある方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

このようなお困り事に
心当たりがある方に…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
特別健康補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

弁護士が
全面的に
サポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL: http://www.z-kyosai.com/

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
事業所協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7 (4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 **地域共同作業所もみじ工房**

〒081-0222 河東郡鹿追町東町2丁目5番地1
TEL & FAX 0156-66-1900
Email bz904847@bz04.plala.or.jp

- ★地域活動支援センター(定員15名)
- ★就労継続支援B型事業所nanmo(定員20名)
- ★主な作業

☆鹿追町バイオハウスでの水耕
栽培野菜作業・石鹸作り
☆小物作り・スニーカー洗い
☆委託作業(収入証紙・ラベル
貼り・枯葉拾い・野菜発送等)

☆道内初のノフクJASSマーク取得しました!
種おとしから袋詰めまで作業に携わっています!

